

デスク用天板をご使用する際の「安全上のご注意事項」

御施主様へお渡しください

必ずお読みください



シュノーデスク用天板 取扱説明書



制限荷重について必ずご確認ください

デスク用天板テクニカルページ

デスク用天板の仕様・制限荷重について詳しく解説しています。デスク用天板をお使いになる前に必ずご確認くださいませよう、お願いいたします。

<https://www.royal-co.net/sssystem/shu-no/topboard-safety/>



株式会社ロイヤル

<https://www.royal-co.net/>

ご不明な点がございましたら下記、または弊社ホームページへお問い合わせください

本社/〒577-0012 大阪府東大阪市長田東1-4-15
TEL:(06)6789-1234(代) FAX:(06)6789-1231

東京支店/〒130-0023 東京都墨田区立川3-6-8
TEL:(03)3634-6180(代) FAX:(03)3635-5766

弊社ホームページ
「お問い合わせ」

<http://www.royal-co.net/inquiry/>

本書はSSシステムデスク用天板を作業台としてご使用される際の注意事項をまとめています。必ず御施主様へお渡しください。



本書はデスク用天板をご使用いただく際、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しております。使用する前には必ず本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
正しく使用されない場合、人身事故や他人に危害を及ぼす可能性がございますので、必ずお守りください。
お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

RYL-MJ-2112

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガ、やけど、感電などをさす。
(※2) 物的損害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。



絶対にデスク用天板の上に乗らないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。



絶対にデスク用天板・パイプにぶらさがらないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。



ビス止めされたデスク用天板のレイアウトを変更する時は、1人で作業をしようとせず、安全のため2人で行なってください。思わぬ事故やケガに至る恐れがあります。



木棚用ブラケットのビス止めは爪が固定され、精度によりましては棚板の上下可動が困難となる恐れがあります。可動が困難な場合はビスをゆるめてから可動してください。



使用するサポート、使用するブラケットによって制限荷重が違います。ご確認の上、正しいご使用方法を行なってください。

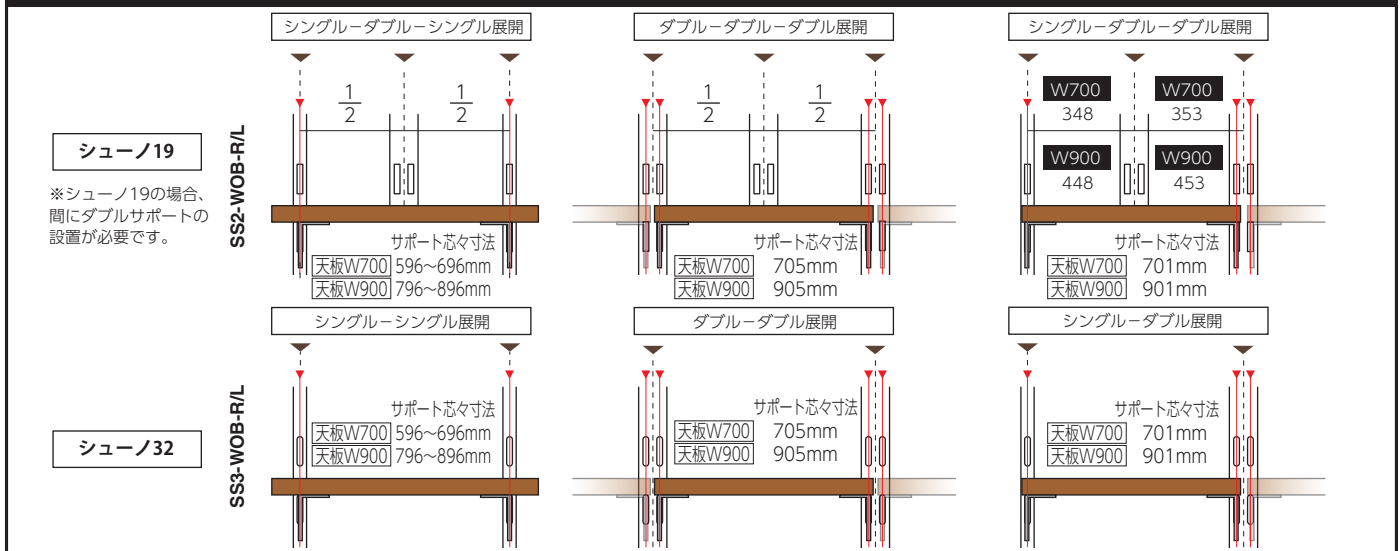
制限荷重

15kg

算出基準「破壊荷重 (kg) 」×「安全率20%」－「瞬間荷重 (kg) 」＝『制限荷重 (kg) 』

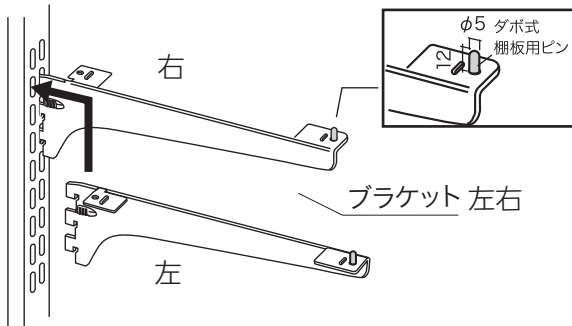
破壊試験時の破壊荷重に、安全率20%を掛けた数値から瞬間的に掛かる荷重想定を除いた数値を、制限荷重としています。

デスク用天板設置におけるサポート芯々寸法について



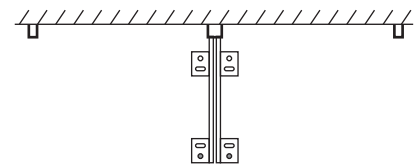
■ デスク用天板を取り付ける場合

①



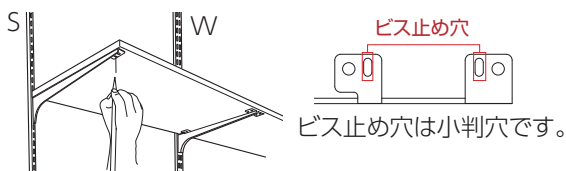
ダボがセットされたブラケットはデスク用天板として使用する壁面位置の中心にあるWサポートに左右セットで先に取付けください。

上面図



シューノ19の場合

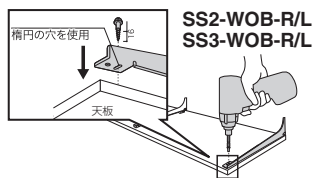
②



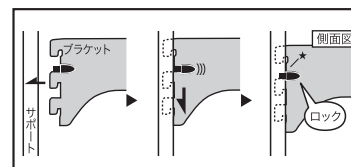
「ブラケット」の上に「天板」を載せて、ビス止め位置をマーキングし、ビスで止めてください。

ビス止めする際は、傷つかないように床を養生し、裏返してブラケットを当てがい作業を行なってください。

※サポート面から天板が2mm以上あくようビス止めしてください

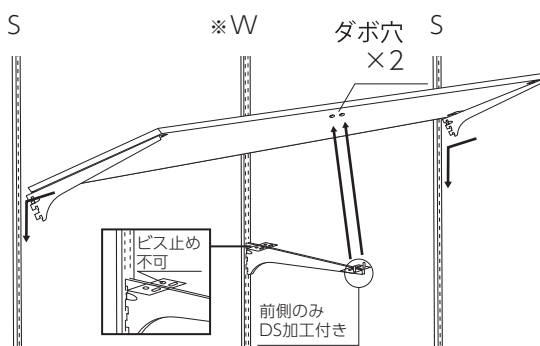


！「サポート」のスリットに「ブラケット」を差し込み、爪部をしっかり落とし込んでください。



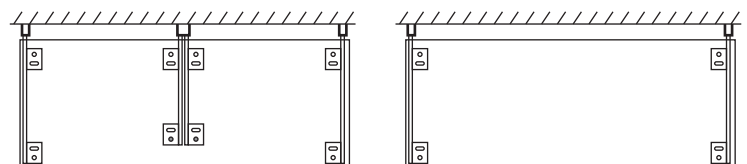
※ブラケットを外す時は、抜け止めを手前に引き自動ロックを解除してください。

③



先に取り付けたブラケットのダボ式棚板用ピンがダボ穴に入るように両手で確実に棚（ブラケット）をサポートへ取り付けてください。天板の位置を変える時に、ブラケットの爪部が入りにくい場合は、ブラケットのビスを少しゆるめてください。

上面図



シューノ19

シューノ32

※シューノ19の場合、間にダブルサポートの設置が必要です

警告・注意

SSシステムのデスク用天板をご使用になる前に下記、警告・注意事項・メンテナンスをよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お願い

デスク用天板は、天然木ならではの木目の美しさと滑らかな質感をお楽しみにいただけます。
それぞれの異なる色合いや木目の表情を「自然の個性」の一つとしてご理解いただきご使用ください。

警告

- ①警告を守らない場合、前触れなくデスク用天板が落下するなどの突然の事故、その他破損事故が発生する恐れがあります。
- ②注意を守らない場合、施工作業中の事故や通常使用動作に伴う人身事故、破損事故の発生又は製品そのものの機能を果たさなくなる恐れがあります。
- ③他社製品（天板）との併用はお止めください。たとえ取り付けが可能であっても、材質や製造方法の違いにより耐荷重性能や安全性が確保できない恐れがあります。
- ④デスク用天板を設置する場合は必ずブラケットを同じ高さに取り付けてください。段違いに取り付けを行なうとガタツキや脱落の原因となります。
- ⑤部品が確実に取り付けられていることをご確認ください。（ブラケットツメ部分嵌合など）取り付けが不十分な場合、デスク用天板が落下してケガをする恐れがあります。
- ⑥デスク用天板の上には乗らないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- ⑦パイプにぶらさがらないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- ⑧デスク用天板で使用する際の「制限荷重」は**15kg以内**となります。ブラケット本体に添付しているQRコードの情報（「安全目安荷重」）は、『収納棚』の使用を対象にしていますのでご注意ください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- ⑨制限荷重値よりも重いものを乗せないでください。作業中に落下してケガをする恐れがあります。
- ⑩制限荷重値以内であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。
- ⑪荷重は壁で支えます。製品取り付け前に必ず丈夫な壁下地があることをご確認ください。作業中に落下してケガをする恐れがあります。
- ⑫サポート類は上下を逆にせず、必ず商品に記載の上下をお守りください。ブラケットのツメがスリットに入らなくなり、落下事故につながります。
- ⑬天板の変形を防止するためにも、荷重はできるだけ分散するようお願いします。
- ⑭油やインクの付着にご注意ください。溶剤・薬品・インクなど付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。
- ⑮製品に直接水をかけたり、濡れたものを置いたりしないでください。製品不具合の原因となります。
- ⑯傷や汚れなどの補修をスプレー塗装で補修しないでください。
- ⑰腰を掛ける・肘をつく・仮眠する・立ち上がる際に手を付く・揺らす・叩く・引っ張る・ぶら下がる等、「過度な負荷」をかける行為は絶対にお避けください。
- ⑱熱いものを直接置かないでください。変形や変色の原因となります。

注意

- ①当SSシステムはロイヤルの別ブランド「AAシステム」と互換性はありません。
- ②SSシステム「シューノ19」と「シューノ32」は互換性はありません。
- ③弊社製品はすべて屋内用です。屋外では使用しないでください。
- ④デスク用天板のレイアウトを変更する時は、1人で行なわず安全のために2人で行なってください。
- ⑤製品の改造はしないでください。製品の強度が失われる可能性があります。
- ⑥カタログに記載している製品のカット対応は行ないますが、カット後の切断面については耐食性が低下しますので、サポートについてはサポートキャップの使用をお勧めいたします。
- ⑦製品に粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らないでください。製品表面の不具合の原因となります。
- ⑧天板を使用する際は、天板用ブラケットセット19または、天板用ブラケットセット32をご使用ください。
- ⑨ビス止めは、天板用ブラケットセットに付属する専用ビスを使用してビス止めを行なってください。
- ⑩水をこぼした場合、すぐに柔らかい布で乾拭きしてください。
- ⑪筆記の際は下敷きやデスクマットをご利用ください。
- ⑫直射日光の当たる場所は、カーテンなどで日除けをしてください。変色や変形の原因となります。

メンテナンス

①日常のお手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは、中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭いてください。

有機溶剤や研磨剤の入ったクリーナーを使用すると製品のサビ、剥離、変色の原因となりますので絶対に使用しないでください。

②収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因にもなりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。

品質保証について

対象製品

保証の対象製品は、原則として弊社カタログ掲載製品とします。（特注製品は含みません）

当社が保証いたしますのは、対象商品を当社から直接ご購入いただいた場合に限りです。

保証事項

通常の環境下で、弊社のカatalog・施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態で弊社の責任に起因する製品の不具合に関しましては、弊社製品のみ無償で対応いたします。

尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

保証期間

保証期間は検収日から1年間とします。

当社製品の検収後（引渡後）に発見された、当社の責任に起因する製品の不具合を無償で対応する期間としております。

保証期間経過後の対応については有償となります。

免責事項

製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①カタログ・取扱説明書・施工説明書・ホームページに記載された用途及び方法以外の施工あるいは使用に起因する不具合。
- ②使用上及び施工上の不備または不当な改造、不適切な維持管理による不具合。
- ③天災その他自然現象・周辺環境または製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合。
- ④経時変化による通常一時的な変褪色、汚れ、サビ、カビ、劣化摩耗などの不具合。
- ⑤犬・猫・鳥・鼠などの動物の害に起因する不具合や虫害に起因する不具合。
- ⑥仕上面の傷、凹みなどの不具合など検収時に容易に発見できる不具合。
- ⑦日本国内以外での使用による不具合。
- ⑧下地材が関係する性能（防火性能、壁強度など）に関する不具合。

性能保証

①下地材に係る性能（防火性能、壁強度など）は、設計・施工を伴う総合的な性能である為、保証対象外とします。

②カタログ等に表示している各種性能データ等は一定の条件下で測定された参考値であり、保証値ではありません。保証方法保証期間内に「保証事項の対象となる不具合」が生じた場合、次の方法により対処します。

・代替製品の無償提供

尚、弊社が出張しての交換・修理を行なうことはできませんので、ご了承ください。

◎カタログの改編のタイミングにより、WEBに掲載の情報と差異が生じる場合がございます。ご了承ください。